



# 藤本 みのる 通信

Vol 262

2017年6月13日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 市立中央病院の健全化について

石井市長は定例会での所信で、市立中央病院の経営健全化について、外部の専門家を入れた小委員会で提言がまとめられており今後の病院運営に活かしていくこと、同時に肝心なのは病院職員自ら、各病棟の医師自らが数値目標を設定し、全職員で達成に向けて取り組んでいくことであると述べて、厳しい経営状況ながら意欲的に取り組んでいる現状を報告しました。

市立中央病院は、地域医療の中核病院であり、市民の命と健康を守る事業の中心です。さらに、「人口問題」の観点からも、大月市での病院の維持存続は欠かせません。私は市長の報告を聞いて、病院現場の取り組みを励ますことが大切だと感じました。

中央病院の経営健全化は、大月市独自の課題でありながら、国による病院つぶしの政策の上での苦難でもあります。診療報酬の総額引き上げ、自治体病院が存続できる地方交付税措置の改善の要求と合わせて踏ん張るべき時です。山梨県内でも、富士・東部医療圏は医師数が少なく、医療格差が生まれています。改めて、安心して住み続けられる生活環境の維持が問われます。

## 石井市長の所信（市議会本会議）

常勤医師は11人体制となりましたが、整形外科医師が課題となっており、女子医大に働きかけています。

また、経営改善のため専門家や県職員などをして設置した病院運営委員会小委員会ですが、これまで6回開催され、病院のあり方や今後の役割、経営改善の方策など、近々に提言書を取りまとめることになっており、今後の病院運営に活かしてまいります。

しかしながら、病院の経営健全化は病院職員自らが取り組まなければならない課題でありますので、今年度は、それぞれ病棟を担当する医師自らが数値目標を設定し、全職員がその数値を共有し、達成に向けて取り組んでいます。

また、内科医師からの提案で、「糖尿病教育入院」を始めることとなり、医師や看護師、薬剤師、栄養管理士、理学療法士などがチームを組んで、指導にあたっているところです。

## 【藤本みのる活動日誌】

6月13日(火) 第2回市議会定例会開会(18日間)